

平成29年12月16日

「地域包括ケアを実現する新たなまちづくり」シンポジウム



松本ヘルスバレー構想の取組み

～官民連携の必要性について～



Matsumoto
Health Lab.

松本市 商工観光部
健康産業・企業立地担当

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

松本市の概要

日本・長野県のほぼ中央に位置



- H28人口：24.1万人（県内2位） ⇒ 地方の中核的な都市
- 面積：978.47km²（県内1位） ⇒ 広範な市域・行政の効率化
- H28老年人口割合：27.2%（県30.7%）
⇒ 超少子高齢型社会の進展
- H26製造品出荷額等：4,839億円 ⇒ 産業構造の高質化

昨年度の松本市財政状況 ⇒ 課題の一つ

1 一般会計予算

○歳入 921億円 ⇒ 税込 357億円 (38.8%)

○歳出 905億円

⇒ 社会保障関係費 357億円 (39.4%)

2 特別会計

○国民健康保険 282億円、○後期高齢者医療 27億円

○介護保険 206億円 計 515億円

3 企業会計

○病院事業会計 49億円

※ 国保1人当たり医療費

H26：335千円⇒H28：354千円 (5.7%増)

※ 後期高齢者医療 1人当たり H28：819千円

「健康寿命延伸都市・松本」の創造

平均寿命から「健康寿命」へ 量から質への転換を図る

《まちづくりの基本目標》

【6つ健康】

- 【人の健康】 だれもが健康でいきいきと暮らすまち
- 【生活の健康】 一人ひとりが輝き大切にされるまち
- 【地域の健康】 安全・安心で支え合いの心がつなぐまち
- 【環境の健康】 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
- 【経済の健康】 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
- 【教育・文化の健康】 とともに学びあい人と文化を育むまち

“健康寿命延伸都市・松本”を産業視点で 支える「松本ヘルスバレー構想」

- 市民が健やかで自立し、安全・安心な暮らしを実践
- こうした市民が新たな健康・医療ニーズを掘り起こし、官民連携によるヘルスケア周辺産業を創出
- このような背景から、更なる雇用・投資・情報等の集積を図り、地域経済の好循環を実現を目指す。

社会的課題を解決する、ここにビジネスあり！

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

同じ課題も、視点を変えれば

行政にとっては・・・

企業にとっては・・・

財政的・人的負担

<共通価値>

解決すべき
社会的ニーズ

ビジネス
チャンス

<行政課題>

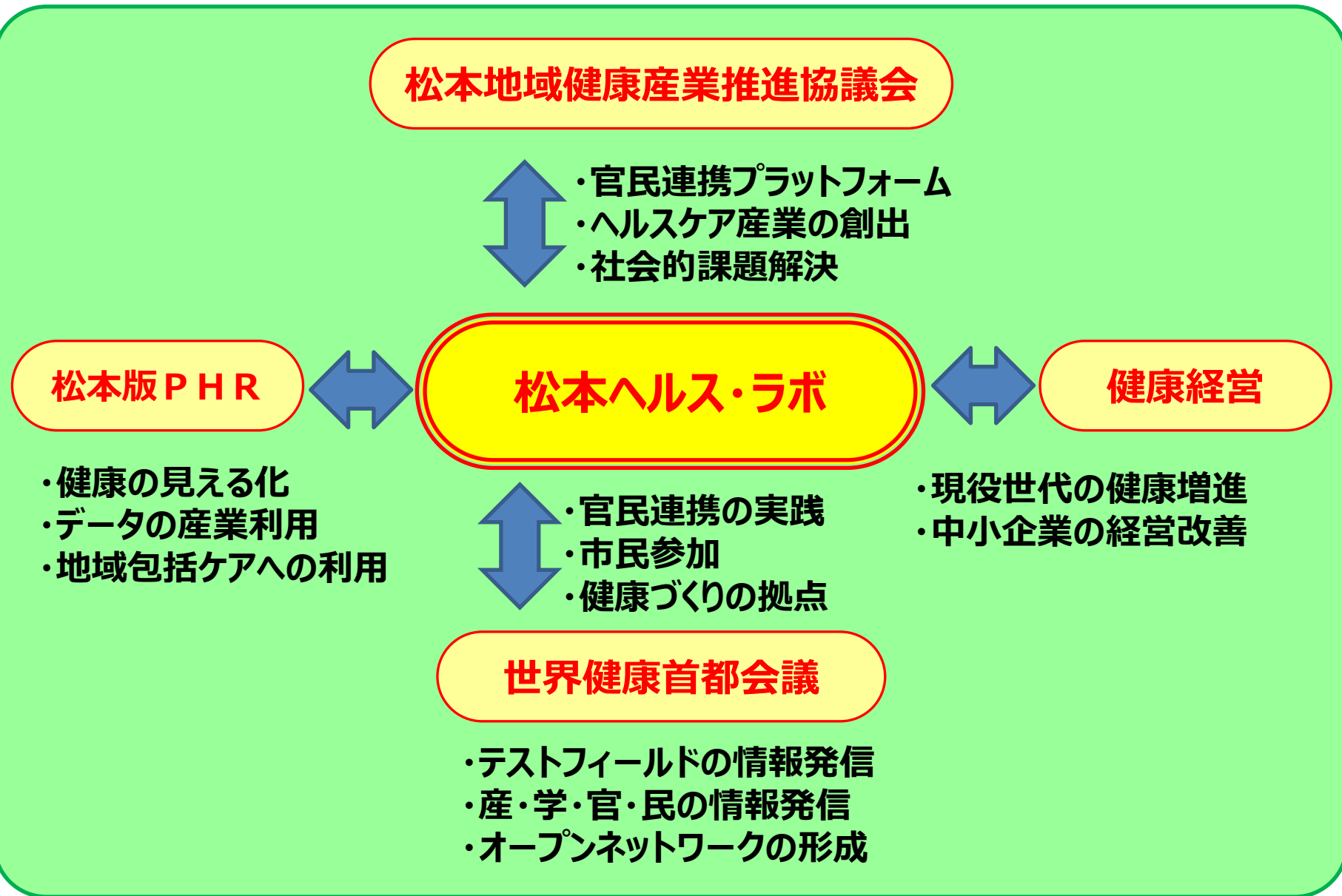
- ・健康増進
- ・疾病予防
- ・医療費の適正化
- ・外出機会の創出等生活の質の向上
- ・ソーシャルキャピタルの形成
(社会的な絆、地域社会との絆)

利益

持続可能性を担保

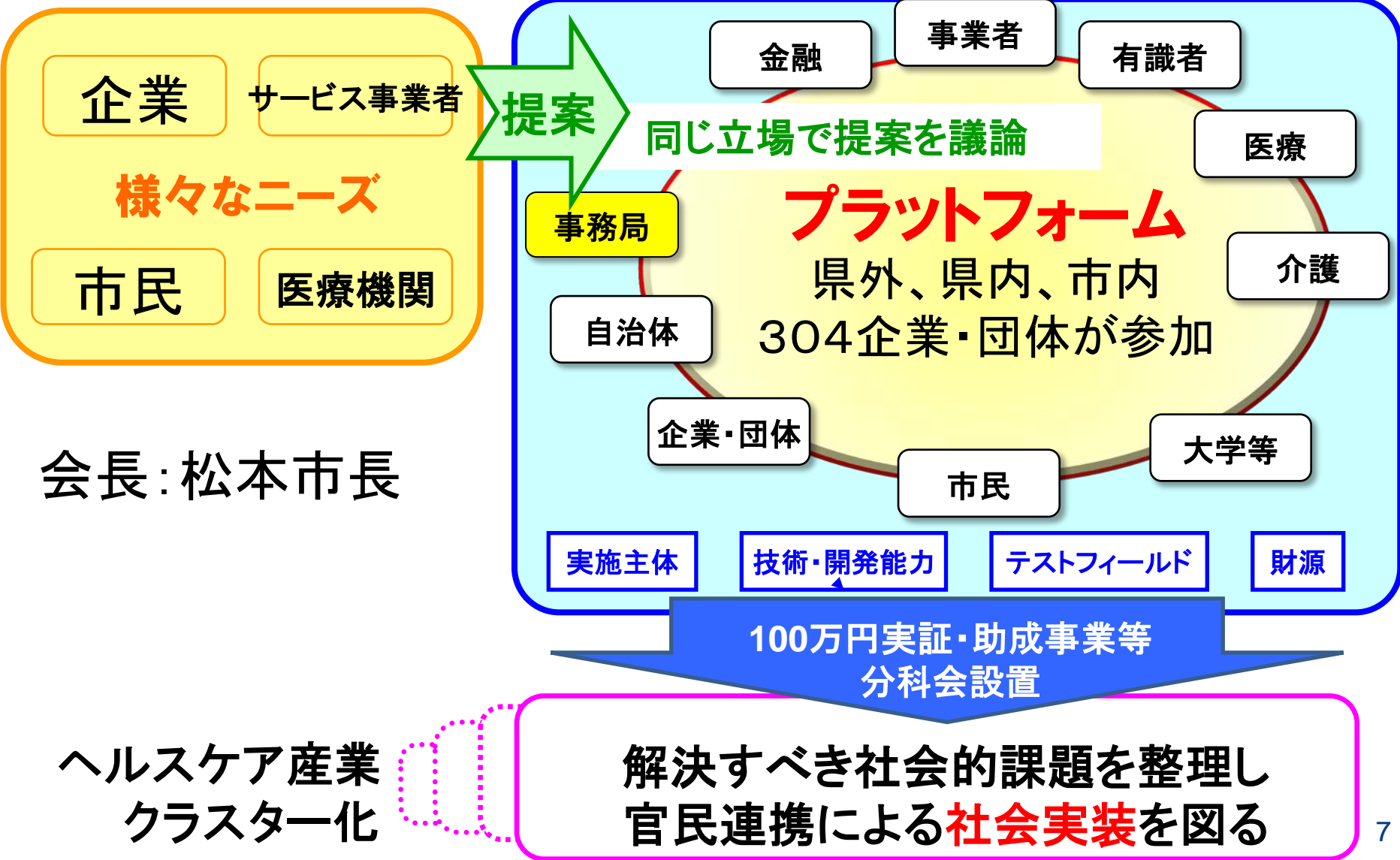


松本ヘルスバレー構想 5つの柱の関係性



官民連携の場

「松本地域健康産業推進協議会」



民間との共創の仕組み 【松本ヘルス・ラボ】

市民（地域住民）の健康増進と
市民との共創による**ヘルスケア産業の創出・育成**の実現を目指す

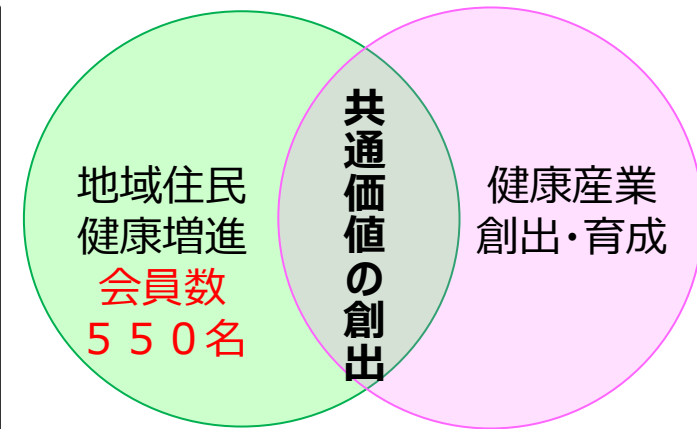
松本ヘルス・ラボが共創に向けて提供するサービス

①【企業向け】市民参加による健康産業創出の場

市民と企業が共創して、新しいビジネスを実証する場

②【市民向け】健康づくりの機会提供

自分自身の健康について考え、取り組む場



企業へのサービス（モニタリング、ワークショップ）



会員(市民)へのサービス（健康プログラム、チェック）



◎ 法人化の必要性

- 1 社会的な信頼性・独立性の担保
- 2 責任の範囲の明確化
- 3 経営方針の明確化と人材の育成

◎ H28.12 一般財団法人化（理事長 松本市長）

拠出財産 3,000万円（全額 松本市）

評議員：長野県、地元金融機関、市民団体、会員代表など

理事：医師会、商議所、信州大学、松本大学、松本市など

◎ 倫理委員会

構成：信州大学、(一社)松本市医師会、弁護士
県工業技術振興団体、市民団体、松本市

審査のポイント：会員の健康増進への寄与、社会貢献度・満足度
個人情報保護、安全性の担保など

松本ヘルス・ラボ会員データベース



○形態測定データ

身長、体重、体脂肪、血圧

年会費 3 千円
年 2 回測定します

○体力測定データ

握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、
10m障害歩行、6分間歩行距離

○血液検査データ

アルブミン、AST、ALT、ALP、 γ -GT、
HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、中性脂肪、尿酸、
クレアチン、血糖、HbA1c、白血球、赤血球、ヘモグロビン量、
ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHC、血小板数

◆生活習慣（加入時アンケート調査）

喫煙・飲酒状況、1日の食生活・睡眠、運動習慣ほか

個人の健康の見える化 = 企業に提供可能な匿名データでもあります

市民参加によるテストフィールドの提供

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

～セイコーエプソン(株)の実証実験～

<ねらい>

- セイコーエプソン製のウェアラブル端末を使用し脈拍・活動量等を計測することにより、生活習慣と健康状態との関係を調査。
- 今後の製品開発、予防プログラム等に利用するための実証実験

<期間>

平成28年3月～7月（4か月間）

<対象>

60歳以上の男女 170名
※60歳未満はエプソン社員（約600名）で実施

<内容>

ウェアラブル端末装着

<研究機関>

信州大学医学部 衛生学公衆衛生学講座

松本ヘルス・ラボ

「健康パスポートクラブ」のメンバーになって
**ウェアラブル端末を使った
健康支援の研究に
参加しませんか。**



エプソン製の腕時計型ウェアラブル端末「バルセンス」を使って生活習慣と健康の関連を調べる研究です。松本ヘルス・ラボ「健康パスポートクラブ」に入会し、バルセンスを4か月間（無料貸出）装着。健康データをチェックすることで、自身の健康に向き合うことができるチャンスです。



参加者
募集



「ウェアラブル端末を使った生活習慣研究ラボ」実施概要

- 実施期間：2016年3月中旬～7月中旬の4か月間
- 募集対象者：60歳以上の男女 ※健康パスポートクラブへの入会（有料）が必要です。
- 定員：先着200名（定員になり次第募集は締切ります）
※適性チェック等により先着でも参加できない場合があります。ご了承ください。
- 依頼事項：①バルセンスの装着
②食生活習慣の調査、喫煙歴、飲酒頻度、尿量状況（高血圧、糖尿病、脂質代謝異常）などのアンケート
- 参加メリット：①バルセンスの実験期間中の無料貸出
②1か月ごとの健康情報フィードバック
- 参加条件：①「健康パスポートクラブ」へ入会
②1/7または3/4の健康チェックに参加
- 共同研究機関：信州大学医学部 衛生学公衆衛生学講座（野見山教授）

バルセンス (DL-SW02) PE-0015
主な測定項目
●心電図(ECG)
●消費カロリー
●血圧(連続測定)測定時間
●歩数計



EPSON
EXCEED YOUR VISION

松本ヘルス・ラボ

健康パスポートクラブ

クラブメンバー募集中!

●お気軽にお問い合わせください！
松本ヘルス・ラボ（特定非営利活動法人S.C.O.P.内）
TEL.0263-50-9797
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://m-health-lab.jp/> 松本ヘルス・ラボ

健康パスポートクラブ概要
●年会費：3,000円 ●年2回の健康チェック（体脂肪率・血圧測定）
●健康イベントへのご招待
●健康産業の最新製品・サービス開発への参加

松本ヘルス・ラボとは：
松本市をはじめ長野県、北本市を含む周辺など少子高齢化が進む地域を中心に住民参加型で健康的な地域づくりを目指す官民連携の団体。「健康パスポートクラブ」は、松本ヘルス・ラボが運営する会員制のクラブです。

松本ヘルス・ラボと推進協議会の関係性

松本地域健康産業推進協議会

プラットフォーム機能

大学・研究機関

医療・介護機関

企業・団体

金融機関

有識者

自治体

事業者



会員向けサービス

事業者向けサービス

松本ヘルス・ラボ

健康づくりの機会を提供

健康づくりの場

健康情報の提供

アイデア創出

テストフィールド

健康産業創出の場を提供

市民



参加：304企業団体
会長：松本市長

モニター個人データ提供

製品・サービス開発への参加

市民と企業が一緒に「健康価値・共通価値」を創造

解決すべき社会的課題を整理し官民連携による事業化・社会実装を図る

松本市民の健康文化の醸成を目指す



健康に意識が高く社会
貢献にリーダー的な層

健康に関心が高く社会
参加に意欲のある層

自己の健康に関心のある層

健康に無関心な層

【官民連携】

※ 多様なニーズに対応

※ 動機付けを誘う

【行政主導】

イノベーションが期待される社会的環境を創出



通勤は スポーツだ!

歩こうBIZ
&CYCLE

松本市健康経営研究会



歩こうBIZ&Cycle BIZとは、通勤スタイルを徒歩や自転車に転換し、加えて公共交通を活用するなど、日常生活の中で、気軽に活動量を増やすことを目的にするものです。徒歩や自転車を使ったカッコいいビジネススタイルで、健康を目指しましょう!

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本 × 市民歩こう運動 × 長野県地域発元気づくり支援金活用事業